



災害発生直後に気をつけること



災害発生直後は、市町や消防などの救助には限界があり、地域での支え合い・助け合いが最も重要です。まず「命を守る」ことをめざし、正確な情報収集と早めの避難に努めましょう。

地震発生時



グラっときたら！

- ①電気・ガスの安全確認
- ②地震の情報を収集（ラジオなど）
- ③周囲に声かけ・無事を確認
- ④避難の持ち出し品を準備

避難開始

- ①名簿により声かけ、安否確認
- ②計画に従い、避難所まで移動

周囲の被災状況や余震などに気をつけ、落ち着いて行動します。

避難直後

- ①避難所の部屋割りなど配慮
- ②避難生活を支援
- ③専門的な支援は、福祉施設などへ移送を依頼
- ④安否不明の人の搜索など

台風など風水害時



台風や大雨が予想されたら・・・

- ①天気予報や河川情報を収集
- ②要配慮者を訪ね、家の安全対策
- ③早めに避難の準備

夜間や風雨が強まってからの移動は危険。避難準備情報が出る前でも、早めに判断し、外が安全な間に避難しましょう。

避難準備情報の発表時

- ①速やかに避難

避難勧告・指示の発令時

- ①浸水などの危険がないか確認
- ②避難所までの安全が確保されるようであれば、避難所へ
- ③外へ出ると危険な場合は、家から出ず2階へ移動する「垂直避難」

避難後の避難生活

避難後生活は普段と環境が一変するため、特に要配慮者にとってはたいへん厳しいものです。少しでも安心して良好な環境の中で生活できるよう、協力して支えあっていきましょう。

- ・毎日の声かけ、情報提供
- ・炊き出し、物資の配達
- ・本人や家族の要望聞き取り
- ・息抜きの場の提供
- ・市町や専門員、ボランティアなどへの相談



ふだんの声かけや訓練などを通じて、どのようなことに困るのかを確かめておき、支援できることを少しずつ分担しておくことが大切です。